

地方創生（環境への取組）で津山市と津山信用金庫との連携を評価：環境省



（パネリスト 営業支援部地域創造室 上席審議役 杉山 裕昭）

11月12日（木曜日）に、東京において環境省主催で自治体職員を対象に行われた第3回低炭素塾で、『地域金融機関と地方公共団体との連携』をテーマとしたパネルディスカッションが開催され、全国から低炭素塾の参加メンバーである地方公共団体の職員および環境省職員等の約80名が参加しました。

パネラーとして、全国の金融機関の中から津山信用金庫、飯田信用金庫（長野県）、西武信用金庫（東京都）の3信用金庫が登壇し、自治体との連携のきっかけ、連携に至った経緯や低炭素化への取り組み事例を発表しました。

当庫は、津山市と連携して取り組んだカーボンオフセット通帳、超小型モビリティの実証事業、市民協働発電所設置におけるクラウドファンディング（「久米の里さくらファンド」）による資金調達事例を発表いたしました。

同行した津山市低炭素都市推進室職員からは、「津山信用金庫との連携による取り組みが全国トップの事例として認められ非常に感激している。今後も地域金融機関と連携し低炭素都市実現に向け頑張りたい。」とのコメントがありました。

以 上

作州地域の活性化応援信用金庫



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫



津山信用金庫

